

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市将監児童館
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 25, 220人 (前年度比 102.7 %)</p> <p>平成30年度 24, 556人 平成29年度 25, 709人 平成28年度 23, 649人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 32, 094 千円 (31, 580 千円) その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料収入 0千円 (0千円) その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシートで確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、日常の遊びの充実や発展に努めており、企画した遊びを一定期間続けるなど多くの子ども達が経験できる工夫を凝らしている。学校や保護者と細やかに情報を共有し、子どもの様子を詳細に把握して支援にあたりるとともに、職員間の共通理解のもと、個別の配慮及び安心して過ごせる環境づくりに努めている。乳幼児親子を対象とした定例行事では、学区外からの参加者も増加しており、近隣地域を含めた子育て支援拠点としての役割を果たしている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》

「地域や子どもたちの状況に応じ、つながりを大切に魅力ある活動を通して、親しまれる児童館を目指す」を重点目標に掲げ、日々の館運営に取り組んでいます。地域の特徴としては、各種公園や公共施設が整っており緑豊かな地域です。一方では、地域全体が少子高齢化の傾向にありつつも共働きの家庭が増え、児童クラブの利用数は徐々に増加傾向にあります。

以上のような特徴を踏まえ、「児童健全育成事業」では、将監沼の自然を生かし、桜を見る会やネイチャーゲームなどを実施しています。また、ダンスクラブや身近な運動遊び(パチスポタイム)、様々な工作など(パチパチタイム)を年間計画に位置づけ、心身の健全育成や情操を育む活動を行っています。

「子育て家庭支援事業」では、将監地域全体を視野に入れて、将監児童センター、将監西児童館と3館協力してドキドキタイム(幼児親子行事)を創設し、魅力ある活動を積極的に行っています。その他に、隣接のコスモス将監保育園や併設のサンホームとも連携した行事をしたり、子育て支援クラブ、人形劇サークル、読み聞かせボランティアと共催行事(かっさー広場など)をしたりして好評を博しています。

「地域交流推進事業」では、ダンスクラブが市民センター祭りやふれあい健康祭りなどで発表し、地域の方々と交流する機会をいただき、地域と児童館をつなぐ重要な役割を果たしています。また、市民センターと将監3館の連携のもと、地域の方々の協力を得てグラウンドゴルフ大会をしたり、地域清掃や昔遊びなどの行事を通して、地域の方々と幅広く交流したりしています。

「放課後健全育成事業」では、様々な遊びや生活のルールを子どもたちと共に考え、話し合うことにより自主性を培い、ルールの「見える化」を心がけています。更に一人一人の特性に配慮しながら楽しく生活できるように児童クラブを運営しています。

《施設設置者（仙台市）による評価》

総合評価

子育て家庭支援事業では、地域の子育て世代の状況変化に柔軟に対応しながら、将監地区三館の協力により「ドキドキタイム」を共催するなど、児童館の利用者数の増加に繋がっている。また、乳幼児親子を対象とした「ホットティータイム」では、併設する児童発達支援センター「サンホーム」と連携し、子どもの発達の悩みを相談できる場を設けた。隣接する将監コスモス保育園から保育士が来館して遊びの提供や子育て相談などを行うほか、幼児クラブと園児、年長児と小学生が交流する機会を設けるなど、地域や施設の特徴を活かした企画が充実しており、乳幼児親子への包括的な支援を行う拠点としての役割を果たしている。

児童健全育成事業においても、地域や近隣の施設と連携を図り、市民センターや将監地区三館の連携によるグラウンドゴルフ大会、地域の自然への興味関心を育てる「桜を見る会」や「地域清掃」への参加など多彩な活動を展開している。そのほか、郵便局との共催行事や地域の方々を活用した講座など、地域人材や関係機関との協力による行事が充実しており、児童館を中心に、地域をあげて子ども達の成長を支える環境づくりに努めている点が評価できる。幼児クラブの子ども達を対象にした「ちびっこまつり」では、小学生が企画運営を行い主体的に行事を作り上げる機会を設け、異年齢交流を通じた子どもの創造性や社会性を育んでいる。

S

四 その他特記事項

(上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する)

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課